

かめ

スポット
CAMERA SPOT



「**楽食**」から元気で豊かな「**おおむらづくり**」

3/1~29
▼食育推進フェア
大村うまかもんまつり

一家団らんの楽しい食卓・食事をとおして、元気で豊かな大村をつくる食育推進フェア「大村うまかもんまつり」が3月1日～29日の金・土・日曜日に開催されました。地産地消をすすめ、安全・安心、かつ新鮮でおいしい地元産品をPRしようと、日曜日には本町アーケードの楽食市場に地元の産直市場が新鮮朝市を店開き。また期間中は、地元新鮮野菜の販売や大村牛の試食販売・日替わり食育講座など、多彩な食のイベントでにぎわいました。



絵本とふれあう時間を大切に

2/14-27
▼「本とあそぼう」
全国訪問おはなし隊



読み聞かせの輪を広げようと、全国を巡回している「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が、郡コミセンと学童保育三城児童クラブを訪問しました。子どもたちはキャラバンカーに積まれたたくさんの絵本を手にして大喜び。子どもたちと本とのたくさんの出会いの場をつくるなど、読書推進にかかわっているボランティアグループの皆さんによる読み聞かせや大型の紙芝居に楽しそうに聞き入っていました。

2/15
▼第5回
三浦史跡巡りウォーク大会



三浦地区の史跡や先人たちの遺構をたどりながらウォーキングを楽しむ「三浦史跡めぐりウォーク大会」が、三浦住民センターを発着点に開かれました。

この日は朝から天候に恵まれ、幼児からお年寄りまでの参加者約120人は、360度のパノラマが広がる日岳や伊賀峰城跡、松の頭、勘作屋敷跡などを巡る約11kmのコースを春の息吹を感じながら歩き、心地よい汗を流していました。

試合も火災も平常心で

3/1
▼第36回
大村市防火少年剣道大会



3月1日～7日の春季全国火災予防運動にちなんで、市内の14剣道場から集まった少年消防クラブ員約215人が参加して「第36回防火少年剣道大会」が行われました。

この大会は、火災が発生しやすいこの時季に、剣道をとおして防火の心を養おうとするもので、個人戦・団体戦に出場した少年剣士の真剣勝負一本一本に、熱い声援が送られていました。

3/1・7・8
▼第46回なかちく公民館まつり



中地区公民館を定期的に利用している53団体が参加して、1年間の生涯学習の成果を発表する「なかちく公民館まつり」が開かれました。この日は、大正琴、コーラス、ダンス、ウクレレなど24団体が見事な舞台発表を行い、満員の会場からは、あたたかい拍手が送られました。

また、7・8日には20団体が展示発表を行い、来館した人は素晴らしい出来栄の作品に見入っていました。

アーケードはひなまつり一色

3/10
~
4/3

▼第8回長崎街道大村宿ひなまつり

市民の皆さんから預った約20組のひな人形が飾られる恒例の「長崎街道大村宿ひなまつり」が、中央商店街アーケードで開催されました。オープンングセレモニーでは、テープカットに続き、もちまきや空き店舗のシャッターを利用して市内保育園児が作った特大のひなまつりおりがみの作品が展示され、大勢の買い物客でにぎわいました。

大村宿ひなまつりは4月3日まで開催され、期間中、ちびっこ文化祭・天正四少年人形コンテスト・天正夢カラー発表・手作り体験教室など多彩なイベントが行われます。



市政のじぶみ

OMURA CITY

INFORMATION

1/19

都市計画道路の見直しに関する意見交換会を実施

市と長崎県が策定した都市計画道路の見直し案について、市民の皆さんの意見を聞く意見交換会が、昨年11月25日から市内7会場で行われました。

今後、皆さんからの意見を参考にして再検討した見直し案と、「おおむね10年以内に事業に着手すべき区間」と「それ以外の区間」に大別するおおよその整備時期を示して、パブリックコメントを実施します。パブリックコメントの実施要領、募集時期については、広報おおむら5月号、市のホームページなどでお知らせします。



2/14

歴史案内人33人に修了証

国内外からキリシタン文化に対する関心が高まっているなか、訪れた観光客などに市内のキリシタン史跡などを案内する「歴史案内人養成講座」の閉講式が市コミセンで行われ、受講した33人に修了証が授与されました。

講座は昨年9月から半年間にわたって行われ、専門講師から市内外のキリシタン史を学習しました。受講者の中には、市内タクシー会社のドライバーもおられ、タクシーを利用した史跡案内など、今後の大村の歴史観光の幅の広がりが期待されます。



2/24

コンパクトでにぎわいあふれるまちづくりを目指して

改正された中心市街地活性化法に基づき、実効性のある取り組みの実現と中心市街地関係者の意識向上を図ろうと国土交通省主催の「中心市街地活性化シンポジウムin大村」が市コミセンで開催されました。

関東学院大学経済学部横森雄教授によるコンパクトでにぎわいあふれるまちづくりへ向けた取り組みのポイントについての基調講演に続き、市長やまちづくり関係者が、市の中心市街地の今後目指すべき姿や、高齢化が進む中で安心して住めるまちづくりなどについて、活発なパネルディスカッションを行いました。

